

○徳島県治水砂防協会長賞

土しやさい害にそなえる

三庄小学校四年 西 とうじ

ぼくは、東みよし町に住んでいます。東みよし町は山が近くにあります。なので土しやさい害が発生するかのうせいがあります。そのことから土しやさい害から身を守るために考えました。

まず、土しやさい害について調べてみました。土しやさい害の種類には、がけくずれ、土石流、地すべりなどがありました。大雨がふって地面が弱くなつて地しんが起きると、石か土しやが流れたりくずれたりします。

次に、東みよし町の防災マップを見てみました。この地図には東みよし町内で想定される、さい害じょうほうがのっています。土しやさい害けいかい区いき、ひなん所がのっています。がけくずれ、土石流、地すべりの全てがあることがわかりました。学校やぼくの家は土しやきけんか所ではなかったのですが、地すべりきけんか所から近くでした。もしかしたらぼくの家もひ害にあうかもしれません。地すべりは、一度に広いはんいの地ばんが動き出します。速度はゆるやかですが、起きると大きなひ害が出ます。

ほくのおじいちゃんの家は山にあってがけくずれが起きるかのうせいがあり、土しやさい害けいかい区いきました。土しやさい害けいかい区いきとは、土しやさい害が起きた場合、住みんの生命または身体にき害が生じるおそれのある区いきです。

ぼくは夏休みに子ども会の防さい教室に参加しました。土しやさい害にあった時はまっすぐにげるより横に向かってにげたほうがいいと教えてもらいました。それは土しやがまっすぐ流れてくるからです。

一人で家にいる時にさい害が起きたら、家にひなん所の場所、だれと行くかをメッセージにしてのこしてひなん所へ行きます。防さい教室に行ってみてさい害が起きた時はパニックにならずれいせいに行動したらいいとわかりました。どこにひなんするかは家族で話し合って、決めておいたほうがいいそうです。ぼくの家は学校の近くなのでひなん所は学校に決めました。

じょうほうしゅう集も大切で、インターネットはデマが多いので正かくなじょうほうはテレビやラジオなどで集めたほうがいいそうです。三日分の水や食料、ラジオ、かさ、もうふなどをじゅんびしたらいいと教えてもらいました。

さい害が起きた時にどのように行動すればいいかわかりました。

大雨がふりだしたら土しやさい害が起きるかもしれないと思いつかしながら
ひなんできるじゅんびをしたいと思いました。